

注3

大学番号：212

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

認可

関西福祉科学大学 教育学部 教育学科

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人玉手山学園  
平成29年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 運営企画室

職名・氏名 室長 ナガイ 永井 ヨウイチ 洋一

電話番号 072-978-0088

（夜間） 072-942-0153

F A X 072-978-0377

e-mail ynagai@tamateyama.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 教育学部

<教育学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	21
5. 教員組織の状況	23
6. 留意事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	36
8. 別紙資料	39

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人玉手山学園

## (2) 大学名

関西福祉科学大学

## (3) 大学の位置

〒582-0026

大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目11番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(エバタ ゲンジ) 江端 源治 (平成15年4月1日)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ハッタ タケン) 八田 武志 (平成26年4月1日)		
学部長	(ハヤシ リュウヘイ) 林 龍平 (平成28年4月1日)		
学科長等	(ハヤシ リュウヘイ) 林 龍平 (平成28年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部	教育学・保育学関係	年	人	年次人	人	
教育学科		4	100	—	400	
子ども教育専攻		4	50	—	200	
発達支援教育専攻 学士(教育学)		4	50	—	200	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

教育学科

区分	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員超過率	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	100 ( 0 ) [ 0 ]	人	人	100 ( 0 ) [ 0 ]	人	人	( ) ( ) [ ]	人	人	( ) ( ) [ ]	0.80倍
志願者数	201 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	174 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	
受験者数	196 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	169 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	
合格者数	169 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	158 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	
B 入学者数	81 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	80 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	
入学定員超過率 B/A	0.81		0.8										

教育学科 子ども教育専攻

区分	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員超過率	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	50 ( 0 ) [ 0 ]	人	人	50 ( 0 ) [ 0 ]	人	人	( ) ( ) [ ]	人	人	( ) ( ) [ ]	0.52倍
志願者数	78 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	67 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	
受験者数	75 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	65 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	
合格者数	64 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	63 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	
B 入学者数	25 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	27 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	
入学定員超過率 B/A	0.5		0.54										

教育学科 発達支援教育専攻

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	50 ( 0 ) [ 0 ]		50 ( 0 ) [ 0 ]		( ) [ ]		( ) [ ]		1.09倍	
志願者数	123 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	107 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	121 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	104 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	105 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	95 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	56 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	53 ( 0 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.12		1.06							

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ [ ] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、**小数点以下第2位まで記入**してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

教育学科

学年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	81 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	80 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	・平成29年度2年次生には、 他学部からの転学部生1名を 含む(29)
2年次	/		80 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次	/						/		
計			81 [ - ] ( - )	160 [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )			

教育学科 子ども教育専攻

学年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	25 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	27 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	・平成29年度2年次生には、 他学部からの転学部生1名を 含む(29)
2年次	/		26 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次	/						/		
計			25 [ - ] ( - )	53 [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )			

教育学科 発達支援教育専攻

学年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	56 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	53 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	
2年次	/		54 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	
3年次			/		/		[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )	[ ] [ ] ( )
4年次	/						/		[ ] [ ] ( )
計			56 [ - ] ( - )		107 [ - ] ( - )				[ ] [ ] ( )

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( ) 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

教育学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	81 人	2 人	平成28年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(2人)	2.46 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	80 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	-	0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		%
合 計	161 人	2 人					1.24 %

教育学科 子ども教育専攻

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	25 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	-	0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	27 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	-	0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		%
合 計	52 人	0 人					0.00 %



教育学科 発達支援教育専攻

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	56 人	2 人	平成28年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(2人)	0.04 %
			平成29年度	0 人	0 人	—	
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	53 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	—	0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		%
合 計	109 人	2 人					0.02 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

### <教育学部 教育学科 子ども教育専攻>

#### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教養	基礎ゼミナールⅠ	1前	2			1	2 3	1				兼18 兼19 兼21 教学運営を円滑に行うため専任教員の担当科目の見直しを行った。兼任教員1名が就任を辞退したが現員で対応可能なため後任補充なし (29) 担当 島田恭仁(教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可 兼任教員2名が就任を辞退したが現員で対応可能なため後任補充なし (28)
	基礎ゼミナールⅡ	1後	2			1	2 3	1				兼18 兼19 兼21 教学運営を円滑に行うため専任教員の担当科目の見直しを行った。兼任教員1名が就任を辞退したが現員で対応可能なため後任補充なし (29) 担当 島田恭仁(教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可 兼任教員2名が就任を辞退したが現員で対応可能なため後任補充なし (28)
	基礎ゼミナールⅢ	2前	2			2 4	5 6	3				教学運営を円滑に行うため専任教員の担当科目の見直しを行った。(29) 担当 島田恭仁(教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可
	基礎ゼミナールⅣ	2後	2			2 4	5 6	3				教学運営を円滑に行うため専任教員の担当科目の見直しを行った。(29) 担当 島田恭仁(教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可
総合教養	総合教養Ⅰ-河内学-	1前		2		1						兼8 オムニバス・共同(一部)
	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-	1後		2								兼8 オムニバス・共同(一部)
	総合教養Ⅲ-健康の世界-	1前		2		1	2					兼12 兼11 教育内容の充実を図るためオムニバスの担当者1名を追加 (28) オムニバス
	総合教養Ⅳ-栄養-	1後		2								兼14 オムニバス
言語	英語コミュニケーションⅠ	1前	2									兼9 兼3 全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加 (28)
	英語コミュニケーションⅡ	1後	2									兼9 兼3 全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加 (28)
	英語コミュニケーションⅢ	2前	2									兼9 兼3 全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加 (29)
	英語コミュニケーションⅣ	2後	2									兼9 兼3 全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加 (29)
	総合英語Ⅰ	1前		2								兼1
	総合英語Ⅱ	1後		2								兼1
	総合英語Ⅲ	1前		2								兼1
	総合英語Ⅳ	1後		2								兼1
	オーラルコミュニケーション	1前		2								兼1
	フランス語Ⅰ	1前		2								兼1
	フランス語Ⅱ	1後		2								兼1
	中国語Ⅰ	1前		2								兼1
中国語Ⅱ	1後		2								兼1	
情報と伝達	情報処理学Ⅰ	1前	1									兼3 兼2 教育内容の充実を図るためクラス数を追加 (28)
	情報処理学Ⅱ	1後	1									兼3 兼2 教育内容の充実を図るためクラス数を追加 (28)
	コンピュータサイエンス	2前		2								兼1
スポーツ	保健体育	1前		1								兼1
	体育実技	1後		1								兼2 共同
自然と科学	地理学	1後		2								兼1
	化学入門	1前		1								兼1
	基礎数学	1前		1								兼1
	生物学入門	1前		1		1						
	物理学入門	1後		1								兼1
	基礎科学概論	1前		2								兼2 オムニバス
	生命科学概論	1前		2		1						兼1 オムニバス
	統計学	1後		1								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人間と社会	哲学	1前		2								兼1	
	人間学	1後		2								兼1	
	倫理学	1後		2								兼1	
	心理学	1前		2								兼1	
	法学	1前		2								兼1	
	日本国憲法	1後		2								兼1	
	人権教育	1前		2								兼1	
	経済学	1前		2								兼1	
	政治学	1前		2								兼1	
	社会学	1後		2								兼1	
	国際関係論	1後		2								兼1	
	現代史	1後		2								兼1	
	外国史	1前		2								兼1	
	日本史	1後		2								兼1	
	外国語で親しむ心理学	2前		2								兼1	
社会福祉概論	1前		2								兼1		
疲労とストレスの科学	3前		2								兼1		
キャリアデザイン	キャリアデザイン	2前	1			1	1					兼9	教学運営を円滑に行うため担当科目を見直しを行った。現員で対応可能なため後任補充なし(29) オムニバス ・共同(一部)
	教師のキャリア発達	3前	1			5		2					オムニバス
専門共通科目	人間関係論	2前		2								兼1	
	レクリエーション論	2前		2								兼1	
	公的扶助論	3後		2								兼1	
	障害者福祉論	3前		2								兼1	
	コミュニティ心理学	3前		2								兼1	
	神経心理学	3前		2								兼1	
	健康心理学	2前		2								兼1	
	人格心理学	1前		2								兼1	
	ポジティブ心理学	3前		2								兼1	
	家族関係論	4前		2			1						
	幼保小連携Ⅰ(現状と課題)	4前		2		2		1					平成29年3月専任教員退職に伴う専任教員の変更(29) 担当 橋川喜美代(教授) 平成29年1月 教員審査済 判定可 オムニバス
幼保小連携Ⅱ(実践)	4後		2				2					オムニバス	
保育	保育原理	1後		2		1							平成29年3月専任教員退職に伴う専任教員の変更(29) 担当 橋川喜美代(教授) 平成29年1月 教員審査済 判定可
	教育原理	1前		2		1							
	教育制度論	3後		2		1							
	児童家庭福祉	1前		2								兼1	
	社会福祉	1後		2								兼1	
	相談援助	2後		1			1						
	社会的養護	2前		2								兼1	
	保育者論	1前		2		1						兼1 兼2	兼任教員の就任辞退に伴い専任教員を追加(29) 担当 橋川喜美代(教授) 平成29年1月 教員審査済 判定可 教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を変更すると共に授業の方式を単独に変更(28) 共同
	保育方法論	2前		2								兼1 兼2	教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を変更すると共に授業の方式を単独に変更(28) 共同
	保育の環境教育	4前		2				1					
	生涯発達心理学Ⅰ(学びの過程)	1前		2			1						
	生涯発達心理学Ⅱ(支援・援助)	1後		1		1							
	子どもの保健Ⅰ	2前		2								兼1	
	子どもの保健Ⅱ	2後		2								兼1	
	子どもの保健Ⅲ	3前		1								兼1	
	子どもの食と栄養	3後		2		1							
	家庭支援論	3前		2			1						
	幼児理解の理論と方法	3前		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	子ども教育専攻											
	教育相談の基礎	3前		2			2	1				平成28年11月AC教員審査提出(29)担当 築地(吉岡)典絵(准教授)平成28年11月 教員審査済判定可 教職課程認定審査の審査意見に伴い教員1名を追加しオムニバス方式に変更(28) (平成29年3月AC教員審査提出予定)
	子どもの健康と安全	3後		2							兼2	オムニバス
	保育教育課程論	1後		2		4					兼1	教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を変更(28)
	保育内容総論	2前		2		1						平成29年3月専任教員退職に伴う専任教員の変更(29) 担当 橋川喜美代(教授) 平成29年1月 教員審査済判定可
	保育内容演習(健康)	2後		2			1				兼1	オムニバス
	保育内容演習(人間関係)	2後		2			4				兼2 兼1	教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を変更(28) オムニバス
	保育内容演習(環境)	2後		2					1			
	保育内容演習(言葉)	2前		2							兼1	
	保育内容演習(表現Ⅰ)	2前		2			1					
	保育内容演習(表現Ⅱ)	3前		2		4					兼1	教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を変更(28)
	保育指導の実際	3後		2		1	1					平成29年3月専任教員退職に伴う専任教員の変更(29) 担当 橋川喜美代(教授) 平成29年1月 教員審査済判定可 オムニバス
	乳児保育	2後		2							兼1	
	障害児保育	1後		2							兼1	
	社会的養護内容	4前		1							兼1	
	保育相談支援	3後		1			1					
	幼児国語	1前		2		1						
	幼児算数	2前		2					1			
	幼児生活	1後		2					1			
	幼児音楽	1前		1		1						
	幼児体育	1後		1							兼1	
	幼児図画工作	1後		1			1					
	ソルフェージュ	1前		1		1						
	ピアノⅠ(基礎)	2前		1		1						
	ピアノⅡ(発展)	2後		1		1						
	児童文学	3前		2		1						
	児童文化	3後		2		1						
国語表現法	2後		1		1							
子ども教育専攻	子ども英語	3後		2							兼1	
	課題実践研究	4前		2		1	3	1				
	学習・発達論	2後		2		1						
	保育と発達支援	1前		2			1					
	子育て支援論	2前		2			1				兼2	オムニバス
	教育実習(幼稚園)	3前		4		2					兼2	平成29年3月専任教員退職に伴う専任教員の変更(29) 担当 橋川喜美代(教授) 平成29年1月 教員審査済判定可
	教育実習事前事後指導(幼稚園)	3前・後		1		2					兼2	平成29年3月専任教員退職に伴う専任教員の変更(29) 担当 橋川喜美代(教授) 平成29年1月 教員審査済判定可
	保育教職実践演習(幼稚園)	4後		2		1	1				兼1	平成29年3月専任教員退職に伴う専任教員の変更(29) 担当 橋川喜美代(教授) 平成29年1月 教員審査済判定可
	保育実習Ⅰ(保育所)	2後		2			2					
	保育実習Ⅰ(施設)	3後		2			2					
	保育実習Ⅱ	4前		2			2					
	保育実習Ⅲ	4前		2			2					
	保育実習指導Ⅰ(保育所)	2後・3前		1			2					
	保育実習指導Ⅰ(施設)	3後・4前		1			2					
	保育実習指導Ⅱ	4前・後		1			2					
	保育実習指導Ⅲ	4前・後		1			2					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	教育哲学	4後		2								兼1	
	学習心理学	2前		2		1							
	異文化理解と教育	4前		2		1							
	特別支援教育の基礎	1前	2			1							
	知的障害者の心理	1後		2			1						
	知的障害者の生理・病理	1後		2		1							
	障害のアセスメント	2前		2			1						
	自閉症スペクトラム障害概論	2前	2				1						
	学習障害・注意欠陥多動性障害概論	2後		2			1						
	教育学入門	1前 1後		2		1						留意事項3.に対応し開講時期を変更(28)	
	生涯学習論	3後		1								兼1	
	教育福祉論	3後		1								兼1	
	両専攻共通開設	研究演習Ⅰ	3前	2			11 40						平成29年3月専任教員退職に伴う専任教員の変更及び教学運営を円滑に行うため専任教員の追加(29) 担当 橋川喜美代(教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 担当 島田恭仁(教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可
		研究演習Ⅱ	3後	2			11 40						平成29年3月専任教員退職に伴う専任教員の変更及び教学運営を円滑に行うため専任教員の追加(29) 担当 橋川喜美代(教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 担当 島田恭仁(教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可
研究演習Ⅲ		4前	2			11 40						平成29年3月専任教員退職に伴う専任教員の変更及び教学運営を円滑に行うため専任教員の追加(29) 担当 橋川喜美代(教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 担当 島田恭仁(教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可	
研究演習Ⅳ		4後	2			11 40						平成29年3月専任教員退職に伴う専任教員の変更及び教学運営を円滑に行うため専任教員の追加(29) 担当 橋川喜美代(教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 担当 島田恭仁(教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## 2 授業科目の概要

### <教育学部教育学科発達支援教育専攻>

#### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教養	基礎ゼミナールⅠ	1前	2			1	2 3	1			兼18 兼19 兼21 教学運営を円滑に行うため専任教員の担当科目の見直しを行った。兼任教員1名が就任を辞退したが現員で対応可能なため後任補充なし(29) 担当 高田恭仁(教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可 兼任教員2名が就任を辞退したが現員で対応可能なため後任補充なし(28)
	基礎ゼミナールⅡ	1後	2			1	2 3	1			兼18 兼19 兼21 教学運営を円滑に行うため専任教員の担当科目の見直しを行った。兼任教員1名が就任を辞退したが現員で対応可能なため後任補充なし(29) 担当 高田恭仁(教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可 兼任教員2名が就任を辞退したが現員で対応可能なため後任補充なし(28)
	基礎ゼミナールⅢ	2前	2			2 4	5 6	3			教学運営を円滑に行うため専任教員の担当科目の見直しを行った。(29) 担当 高田恭仁(教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可
	基礎ゼミナールⅣ	2後	2			2 4	5 6	3			教学運営を円滑に行うため専任教員の担当科目の見直しを行った。(29) 担当 高田恭仁(教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可
総合教養	総合教養Ⅰ-河内学-	1前		2		1					兼8 オムニバス ・共同(一部)
	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-	1後		2							兼8 オムニバス ・共同(一部)
	総合教養Ⅲ-健康の世界-	1前		2		1	2				兼12 兼11 教育内容の充実を図るためオムニバスの担当者1名を追加(28) オムニバス
	総合教養Ⅳ-栄養-	1後		2							兼14 オムニバス
言語	英語コミュニケーションⅠ	1前	2								兼9 兼3 全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)
	英語コミュニケーションⅡ	1後	2								兼9 兼3 全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)
	英語コミュニケーションⅢ	2前	2								兼9 兼3 全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(29)
	英語コミュニケーションⅣ	2後	2								兼9 兼3 全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(29)
	総合英語Ⅰ	1前		2							兼1
	総合英語Ⅱ	1後		2							兼1
	総合英語Ⅲ	1前		2							兼1
	総合英語Ⅳ	1後		2							兼1
	オーラルコミュニケーション	1前		2							兼1
	フランス語Ⅰ	1前		2							兼1
フランス語Ⅱ	1後		2							兼1	
中国語Ⅰ	1前		2							兼1	
中国語Ⅱ	1後		2							兼1	
情報と伝達	情報処理学Ⅰ	1前	1								兼3 兼2 教育内容の充実を図るためクラス数を追加(28)
	情報処理学Ⅱ	1後	1								兼3 兼2 教育内容の充実を図るためクラス数を追加(28)
	コンピュータサイエンス	2前		2							兼1
※ スポーツ	保健体育	1前		1							兼1
	体育実技	1後		1							兼2 共同
自然と科学	地理学	1後		2							兼1
	化学入門	1前		1							兼1
	基礎数学	1前		1							兼1
	生物学入門	1前		1		1					
	物理学入門	1後		1							兼1
	基礎科学概論	1前		2							兼2 オムニバス
	生命科学概論	1前		2		1					兼1 オムニバス
	統計学	1後		1							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間と社会	哲学	1前		2								兼1
	人間学	1後		2								兼1
	倫理学	1後		2								兼1
	心理学	1前		2								兼1
	法学	1前		2								兼1
	日本国憲法	1後		2								兼1
	人権教育	1前		2								兼1
	経済学	1前		2								兼1
	政治学	1前		2								兼1
	社会学	1後		2								兼1
	国際関係論	1後		2								兼1
	現代史	1後		2								兼1
	外国史	1前		2								兼1
	日本史	1後		2								兼1
	外国語で親しむ心理学	2前		2								兼1
社会福祉概論	1前		2								兼1	
疲労とストレスの科学	3前		2								兼1	
キャリア	キャリアデザイン	2前	1			+	1					兼10 兼9 教学運営を円滑に行うため担当科目を見直しを行った。専任教員を減員し兼任教員を追加 (29) オムニバス ・共同(一部)
	教師のキャリア発達	3前	1			5		2				オムニバス
専門共通科目	人間関係論	2前		2								兼1
	レクリエーション論	2前		2								兼1
	公的扶助論	3後		2								兼1
	障害者福祉論	3前		2								兼1
	コミュニティ心理学	3前		2								兼1
	神経心理学	3前		2								兼1
	健康心理学	2前		2								兼1
	人格心理学	1前		2								兼1
	ポジティブ心理学	3前		2								兼1
	家族関係論	4前		2			1					
幼保小連携Ⅰ(現状と課題)	4前		2		2		1				平成29年3月専任教員退職に伴う専任教員の変更(29) 担当 橋川喜美代(教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 オムニバス	
幼保小連携Ⅱ(実践)	4後		2				2				オムニバス	
発達支援教育専攻	教職概論	1前		2		1						
	教育原論	1後		2		1						
	学校経営論	3前		2		1						
	教育課程論	1後		2								兼1
	教育行政学	4前		2		1						
	教育心理学	1後		2		1						
	道徳教育論	3前		2								兼1
	特別活動の指導法	2前		2		1						
	教育の方法と技術	1後		2		1						
	生徒・進路指導論	3前		2		+	+					兼1 教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を変更すると共に授業の方式を単独に変更(28) オムニバス
	教育相談の理論と方法	3前		2			2	+				平成28年11月AC教員審査提出(29) 担当 築地(吉岡)典絵 平成28年11月 教員審査済 判定 可 教職課程認定審査の審査意見に伴い教員1名を追加しオムニバス方式に変更(28) (平成29年3月AC教員審査提出予定)
	子どもと自然	4前		2		1						
	消費者教育学	4前		2		1						
	総合学習の演習	4前		1		1						
	学級づくりの理論と実際	3後		2				2				オムニバス
	授業づくりの内容と方法	3後		2		3						オムニバス
	保護者との協同体制づくりの実践	4後		2		1		1				オムニバス
	教職基礎演習Ⅰ(場面指導・教科)	3後		2				2				オムニバス
	教職基礎演習Ⅱ(教科)	4前		2		1		1				オムニバス
	国語(小)	1前		2		1						
社会(小)	1前		2		1							
算数(小)	2前		2				1					
理科(小)	1前		2		1							
生活(小)	2前		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	音楽(小)	1後		2		1						
	図画工作(小)	1前		2			1					
	家庭(小)	2前		2		1						
	体育(小)	1前		2				1				
	初等英語	2前		2							兼1	
	初等教科教育法(国語)	2後		2		1						
	初等教科教育法(社会)	2後		2		1						
	初等教科教育法(算数)	2後		2				1				
	初等教科教育法(理科)	2後		2							兼1	
	初等教科教育法(生活)	3前		2		1						
	初等教科教育法(音楽)	2後		2							兼1	
	初等教科教育法(図画工作)	2後		2			1					
	初等教科教育法(家庭)	3前		2		1						
	初等教科教育法(体育)	2前		2				1				
	初等教科教育法(英語)	3後		2							兼1	
	初等教材研究A(国語)	3前		2		1						
	初等教材研究B(社会)	3後		2		1						
	初等教材研究C(算数)	3後		2				1				
発達支援教育専攻	教育実習(小学校)	3前		4		1		2				
	教育実習事前事後指導(小学校)	3前・後		1		2						
	教職実践演習(小学校)	4後		2		3						
	肢体不自由者の心理・生理・病理	2後		2		1						
	病弱者の心理・生理・病理	2後		2		1						
	知的障害者教育論	2前		2			1					
	肢体不自由教育論	4前		2							兼1	
	病弱教育の理論と実際	3前		2							兼1	
	知的障害者の指導基礎論	3後		2			1				兼1	教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を変更(28)(平成29年10月AC教員審査提出予定)
	知的障害者教育論演習	3後		2			1					
	特別支援教育実践演習	4後		2		2	2					教学運営を円滑に行うため専任教員を追加(29) 担当 島田恭仁(教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可 オムニバス ・共同(一部)
	知的・発達障害者の継続教育論	4前		2			1					
	視覚障害教育総論	3後		2							兼1	
	聴覚障害教育総論	3後		2							兼1	
	言語障害教育概論	3後		2							兼1	集中
	情緒障害教育概論	3後		1							兼1	
	重度重複障害教育概論	3後		1							兼1	
	専門科目	発達障害児の指導法	2後		2		1	2				
発達障害児の指導法演習		3前		2		1	2					兼任 兼任教員の就任辞退に伴い専任教員を追加(29) 担当 島田恭仁(教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可 オムニバス ・共同(一部)
特別支援教育実習		4前		2		2	2					教学運営を円滑に行うため専任教員を追加(29) 担当 島田恭仁(教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可
特別支援教育実習事前事後指導		4前・後		1		2	2					教学運営を円滑に行うため専任教員を追加(29) 担当 島田恭仁(教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可
教育哲学		4後		2							兼1	
学習心理学		2前		2		1						
異文化理解と教育		4前		2		1						
特別支援教育の基礎		1前	2			1						
知的障害者の心理		1後		2			1					
知的障害者の生理・病理		1後		2			1					
障害のアセスメント		2前		2			1					
自閉症スペクトラム障害概論		2前	2				1					
学習障害・注意欠陥多動性障害概論	2後		2			1						
教育学入門	1前 1後		2			1					留意事項3.に対応し開講時期を変更(28)	
生涯学習論	3後		1							兼1		
教育福祉論	3後		1							兼1		



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
両専攻共通開設	研究演習Ⅰ	3前	2			11 <del>10</del>						平成29年3月専任教員退職に伴う専任教員の変更及び教学運営を円滑に行うため専任教員の追加(29) 担当 橋川喜美代(教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 担当 島田恭仁(教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可
	研究演習Ⅱ	3後	2			11 <del>10</del>						平成29年3月専任教員退職に伴う専任教員の変更及び教学運営を円滑に行うため専任教員の追加(29) 担当 橋川喜美代(教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 担当 島田恭仁(教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可
	研究演習Ⅲ	4前	2			11 <del>10</del>						平成29年3月専任教員退職に伴う専任教員の変更及び教学運営を円滑に行うため専任教員の追加(29) 担当 橋川喜美代(教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 担当 島田恭仁(教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可
	研究演習Ⅳ	4後	2			11 <del>10</del>						平成29年3月専任教員退職に伴う専任教員の変更及び教学運営を円滑に行うため専任教員の追加(29) 担当 橋川喜美代(教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 担当 島田恭仁(教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

<教育学部教育学科>

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 18	科目 187	科目	科目 205	科目 18 [ 0]	科目 187 [ 0]	科目 [ ]	科目 205 [ 0]	

<教育学部教育学科子ども教育専攻>

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 18	科目 124	科目	科目 142	科目 18 [ 0]	科目 124 [ 0]	科目 [ ]	科目 142 [ 0]	

<教育学部教育学科発達支援教育専攻>

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 18	科目 126	科目	科目 144	科目 18 [ 0]	科目 126 [ 0]	科目 [ ]	科目 144 [ 0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

### (3) 未開講科目

#### 教育学科

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						【該当なし】
3						

#### 教育学科 子ども教育専攻

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						【該当なし】
3						

#### 教育学科 発達支援教育専攻

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						【該当なし】
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

#### 教育学科

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						【該当なし】
3						

#### 教育学科 子ども教育専攻

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						【該当なし】
3						

#### 教育学科 発達支援教育専攻

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						【該当なし】
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】
--------

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

教育学科				
未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	=	$\frac{0}{205}$	=	<input type="text" value="0"/> %
設置時の計画の授業科目数の計(A)				
教育学科 子ども教育専攻				
未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	=	$\frac{0}{142}$	=	<input type="text" value="0"/> %
設置時の計画の授業科目数の計(A)				
教育学科 発達支援教育専攻				
未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	=	$\frac{0}{144}$	=	<input type="text" value="0"/> %
設置時の計画の授業科目数の計(A)				

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【共用する学校】 関西女子短期大学 (収容定員：700人/面積基準： 7,000㎡) 関西福祉科学大学高等学校(収容 定員：1,410人/面積基準：15,480 ㎡) 関西女子短期大学附属幼稚園(収 容定員：495人/面積基準：3,160 ㎡) 学園総合体育館(別地) 所要時間：徒歩5分 距離：400 m ・平成28年3月校地・校舎等の変更 届出済み(28)		
	校 舎 敷 地	0㎡	44,930㎡	2,422㎡ 0㎡	47,352㎡ 44,930㎡			
	運 動 場 用 地	0㎡	5,976㎡	8,080㎡	14,056㎡			
	小 計	0㎡	50,906㎡	10,502㎡ 8,080㎡	61,408㎡ 58,986㎡			
	そ の 他	2,160㎡	33,961㎡	0㎡ 2,422㎡	36,121㎡ 38,543㎡			
	合 計	2,160㎡	84,867㎡	10,502㎡	97,529㎡			
(2) 校 舎	専 用	27,636㎡ 27,570㎡	5,643㎡	8,067㎡	41,346㎡ 41,280㎡	【共用する学校】 関西女子短期大学 ・平成28年3月校地・校舎等の変更 届出済み(28)		
	( 26,990㎡ ) ( <del>27,252㎡</del> )	( 5,643㎡ )	( 8,713㎡ ) ( <del>8,385㎡</del> )	( 41,346㎡ ) ( <del>41,280㎡</del> )				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 ・講義室・実験実習室：講義室を 実験実習室に改修。短期大学使用 教室を大学実験実習室に改修 (29) ・補助職員：平成28年5月1日の雇 用実績に基づき変更(28)		
	32室 33室	30室	46室 41室 39室	3室 4人 (補助職員 7人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			講師は2名で1室		
	教育学部 教育学科		21 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部関連図書・学術雑誌等は短大 図書館を含む。 大学・短大全体の共用分(左記の 教育学部関連図書を含む) 図書約127,700冊 約129,000冊 〔約7,000〕 〔約9,500〕 視聴覚資料5,800種 学術雑誌約1,200種 ・利用実績のない古い洋書及び視 聴覚資料(VHS)を廃棄する一方、 必要な図書等は計画通り購入して おり、修学に支障は生じない (29) ・既所蔵図書との重複を分を除 き、再選定したことによる(28)
	教育学部 教育学科	23,397 [1,061] 23,182 [1,218] 22,406 [1,220] (23,097 [1,031]) ( <del>22,732 [1,168]</del> ) ( <del>21,956 [1,170]</del> )	62 [ 6 ]	0 [ 0 ]	1,180 1,169 1,139 ( 1,162 ) ( <del>1,145</del> ) ( <del>1,099</del> )	4,465 4,066 4,121 ( 4,465 ) ( <del>4,066</del> ) ( <del>4,121</del> )	42 41 ( 42 ) ( <del>41</del> )	
	計	23,397 [1,061] 23,182 [1,218] 22,406 [1,220] (23,097 [1,031]) ( <del>22,732 [1,168]</del> ) ( <del>21,956 [1,170]</del> )	62 [ 6 ]	0 [ 0 ]	1,180 1,169 1,139 ( 1,162 ) ( <del>1,145</del> ) ( <del>1,099</del> )	4,465 4,066 4,121 ( 4,465 ) ( <del>4,066</del> ) ( <del>4,121</del> )	42 41 ( 42 ) ( <del>41</del> )	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体(関西女子短期大学での 共用分を含む) <短大> 面積：442㎡ 閲覧座席数：80席 収容可能冊数：53,000冊 ・修学に支障のない範囲で、第2書 庫を実習室に転用したことによる (29)			
	1,173㎡ 1,246㎡	305席	102,000冊 111,000冊					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体 (関西女子短期大学での共用分含 む)			
	7,053㎡	テニスコート3面						

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同研究費等は大学全体</li> <li>・図書購入費：教育内容をより充実させるため、費用を重点配分したことにより増加(29)</li> <li>・図書購入費：洋雑誌の価格が見積金額よりも安価であったため(28)</li> <li>・設備購入費：開設前年度繰越分に加え、教育内容をより充実させるため、設備の一部見直しを行ったことによる(29)</li> <li>・設備購入費：グレード等の見直しのため翌年に繰越したが、総額に変更はない。なお、開設初年度の学部運営に支障は生じない(28)</li> </ul>
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	6,232千円 <del>6,280千円</del>	2,591千円 1,555千円	830千円	
	共同研究費等	9,500千円 <del>8,000千円</del>	8,000千円	設備購入費	53,719千円 <del>58,322千円</del>	22,890千円 16,405千円 11,802千円	0千円		
	学生1人当り納付金	第1年次 1,300千円	第2年次 1,100千円	第3年次 1,100千円	第4年次 1,100千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	関西福祉科学大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
社会福祉学部								大阪府柏原市 旭ヶ丘3丁目 11番1号	平成28年度入学定員△40、 3年次編入△20  平成28年度より学生募集停 止（3年次編入学定員は平 成30年4月学生募集停止）
社会福祉学科	4	140	3年次 20	680	学士 (社会福祉学)	0.96	平成9年度		
臨床心理学科	4	—	3年次 20	180	学士 (臨床心理学)	0.57	平成15年度		
心理科学部									
心理科学科	4	110	—	220	学士 (心理科学)	0.85	平成28年度		
健康福祉学部									
健康科学科	4	80	3年次 10	340	学士 (健康科学)	0.99	平成15年度		
福祉栄養学科	4	80	3年次 5	330	学士 (福祉栄養学)	1.01	平成15年度		
保健医療学部									
リハビリテーション学科						1.05			
理学療法専攻	4	80	—	320	学士 (理学療法学)	1.03	平成23年度		
作業療法専攻	4	50	—	180	学士 (作業療法学)	1.16	平成23年度		
言語聴覚専攻	4	40	—	120	学士 (言語聴覚学)	0.94	平成27年度		
教育学部									
教育学科						0.80			
子ども教育専攻	4	50	—	100	学士 (教育学)	0.52	平成28年度		
発達支援教育専攻	4	50	—	100	学士 (教育学)	1.09	平成28年度		
備 考									平成28年度入学定員+10
大学 の 名 称	関西福祉科学大学大学院								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
社会福祉学研究科								大阪府柏原市 旭ヶ丘3丁目 11番1号	
臨床福祉学専攻 (博士前期課程)	2	20	—	40	修士 (臨床福祉学)	0.20	平成13年度		
臨床福祉学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (臨床福祉学)	0.44	平成15年度		
心理臨床学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (心理臨床学)	0.75	平成15年度		

大学の名称	関西女子短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
保育学科	2	120	—	240	短期大学士(保育学)	1.00	昭和40年度	大阪府柏原市 旭ヶ丘3丁目 11番1号	平成28年度入学定員+20
養護保健学科	2	40	—	80	短期大学士(保健学)	1.07	昭和42年度		
歯科衛生学科	3	100	—	300	短期大学士(歯科衛生学)	1.16	平成17年度		
医療秘書学科	2	40	—	80	短期大学士(保健学)	1.10	平成23年度		平成28年度入学定員△20

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。



5 教員組織の状況

<教育学部教育学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月			
<学科共通>										
専	教授 (学部長兼学科長)	林 龍平 (62)	平成28年4月	教師のキャリア発達※ 生涯発達心理学Ⅱ(支援・援助) 課題実践研究 学習・発達論 教育心理学 学習心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ						
専	教授	大脇 康弘 (65)	平成29年4月	教師のキャリア発達※ 教育制度論 学校経営論 教育行政学 保護者との協働体制づくりの実践※ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ						
専	教授	野田 文子 (63)	平成29年4月	教師のキャリア発達※ 子どもの食と栄養 消費者教育学 授業づくりの内容と方法※ 教職基礎演習Ⅱ(教科)※ 家庭(小) 初等教科教育法(家庭) 教育実習事前事後指導(小学校) 教職実践演習(小学校) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ						
専	教授	馬野 範雄 (62)	平成29年4月	教師のキャリア発達※ 幼保小連携Ⅰ(現状と課題)※ 総合学習の演習 授業づくりの内容と方法※ 生活(小) 初等教科教育法(生活) 教育実習(小学校) 教育実習事前事後指導(小学校) 教職実践演習(小学校) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ						
専	教授	岡本 雅子 (55)	平成28年4月	幼保小連携Ⅰ(現状と課題)※ 保育原理 保育教育課程論 保育内容総論 保育指導の実践※ 教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園) 保育教職実践演習(幼稚園) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	橋川 喜美代 (65)	H29年4月	幼保小連携Ⅰ(現状と課題)※ 保育原理	平成29年3月、岡本雅子の退職に伴い担当者を変更(平成29年1月AC教員審査済)(29)
					兼任	講師	西本 望 (57)	平成28年10月	保育教育課程論	教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を変更(28)
					専	教授	橋川 喜美代 (65)	H29年4月	保育内容総論 保育指導の実践※ 教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園) 保育教職実践演習(幼稚園) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	平成29年3月、岡本雅子の退職に伴い担当者を変更(平成29年1月AC教員審査済)(29)
専	教授	小西 正雄 (65)	平成28年4月	授業づくりの内容と方法※ 社会(小) 初等教科教育法(社会) 初等教材研究B(社会) 異文化理解と教育 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ						

認可時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授	島田 恭仁 (60)	平成28年4月	特別支援教育の基礎						
					専	教授	島田 恭仁 (61)	平成29年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 特別支援教育実践演習※ 発達障害児の指導法※ 発達障害児の指導法演習※ 特別支援教育実習 特別支援教育実習事前事後指導 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	教学運営を円滑に行うため担当科目の見直しを行った(平成28年11月AC教員審査済)(29) 教学運営を円滑に行うため担当科目の見直しを行った(平成28年11月AC教員審査済)(29) 野口法子の就任辞退に伴い、担当教員を変更(平成28年11月AC教員審査済)(29) 教学運営を円滑に行うため担当科目の見直しを行った(平成28年11月AC教員審査済)(29)
専	教授	生野 金三 (72)	平成28年4月	特別活動の指導法 教育の方法と技術 生徒・進路指導論※ 初等教科教育法(国語) 初等教材研究A(国語) 教職実践演習(小学校) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	兼	講師	瀧野 揚三 (55)	平成30年4月	生徒・進路指導論	教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を変更すると共に授業の方式を単独に変更(28)
専	教授	高木 史人 (58)	平成28年4月	幼児国語 児童文学 児童文化 国語表現法 教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園) 国語(小) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ						
専	教授	高塚 桂子 (58)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 保育内容演習(表現Ⅱ) 幼児音楽 ソルフェージュ ピアノⅠ(基礎) ピアノⅡ(発展) 音楽(小)	兼	講師	廣津 友香 (45)	平成30年4月	保育内容演習(表現Ⅱ)	教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を変更(28)
専	教授	田巻 義孝 (72)	平成28年4月	総合教養Ⅲ－健康の世界－※ 肢体不自由者の心理・生理・病理 病弱者の心理・生理・病理 特別支援教育実践演習※ 特別支援教育実習 特別支援教育実習事前事後指導 知的障害者の生理・病理 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ						
					専	教授	橋川 喜美代 (65)	H29年4月	保育者論 幼保小連携Ⅰ(現状と課題)※ 保育原理 保育内容総論 保育指導の実際※ 教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園) 保育教職実践演習(幼稚園) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	清水益治の就任辞退に伴い、担当者を変更(平成29年1月AC教員審査済)(29) 平成29年3月、岡本雅子の退職に伴い担当者を変更(平成29年1月AC教員審査済)(29)

認可時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授	宮野 安治 (69)	平成28年4月	キャリアデザイン※ 教師のキャリア発達※ 教育原理 教職概論 教育原論 教育学入門	兼任	准教授	鈴木 真 (44)	H29年4月	キャリアデザイン※	教学運営を円滑に行うため担当科目の見直しを行った(29)
専	教授	山本 真紀 (51)	平成28年4月	総合教養Ⅰ－河内学－※ 生物学入門 生命科学概論※ 子どもと自然 理科(小) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ						
専	准教授	加藤 美朗 (55)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 総合教養Ⅲ－健康の世界－※ 特別支援教育実践演習※ 知的・発達障害者の継続教育論 発達障害児の指導法※ 発達障害児の指導法演習※ 特別支援教育実習 特別支援教育実習事前事後指導 知的障害者の心理 障害のアセスメント 学習障害・注意欠陥多動性障害概論						
専	准教授	築地(吉岡)典絵 (47)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 家族関係論 課題実践研究	専	准教授	築地(吉岡)典絵 (47)	平成30年4月	教育相談の基礎※ 教育相談の理論と方法※	教職課程認定審査の審査意見に伴い、新川泰弘とのオムニバス科目を追加(28) (平成29年3月AC教員審査提出予定) (平成28年11月AC教員審査済) (29)
				生徒・進路指導論※	兼任	講師	瀧野 揚三 (55)	平成30年4月	生徒・進路指導論	教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を変更すると共に授業の方式を単独に変更(28)
専	准教授	新川 泰弘 (45)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 相談援助 家庭支援論 教育相談の基礎 保育相談支援 課題実践研究 子育て支援論※ 保育教職実践演習(幼稚園) 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅰ(保育所) 保育実習指導Ⅰ(施設) 保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ	専	教授	島田 恭仁 (61)	平成29年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ	教学運営を円滑に行うため担当科目の見直しを行った(平成28年11月AC教員審査済)(29)
				教育相談の理論と方法	専	准教授	新川 泰弘 (45)	平成30年4月	教育相談の理論と方法※	教職課程認定審査の審査意見に伴い、築地(吉岡)典絵とのオムニバス方式に変更(28)
専	准教授	西元(山本)直美 (42)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ キャリアデザイン※ 保育内容演習(健康)※ 保育内容演習(人間関係)※ 保育指導の実際※ 課題実践研究 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅰ(保育所) 保育実習指導Ⅰ(施設) 保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ	兼任	講師	坂口 哲司 (66)	平成29年10月	保育内容演習(人間関係)※	教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を変更(28)
					兼任	講師	杉村 智子 (51)	平成29年10月	保育内容演習(人間関係)※	坂口哲司の就任辞退に伴い、担当教員を変更(29)

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	准教授	堀田 千絵 (35)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 総合教養Ⅲ－健康の世界－※ 生涯発達心理学Ⅰ(学びの過程) 保育と発達支援 知的障害者教育論 知的障害者教育論演習 特別支援教育実践演習※ 発達障害児の指導法※ 発達障害児の指導法演習※ 特別支援教育実習 特別支援教育実習事前事後指導 自閉症スペクトラム障害概論						
専	准教授	湯川 雅紀 (49)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 保育内容演習(表現Ⅰ) 幼児図画工作 図画工作(小) 初等教科教育法(図画工作)						
専	講師	香田 健治 (50)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 幼保小連携Ⅱ(実践)※ 保育の環境教育 保育内容演習(環境) 幼児生活 課題実践研究 学級づくりの理論と実際※ 教職基礎演習Ⅰ(場面指導・教科)※						
専	講師	西川 潔 (58)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 教師のキャリア発達※ 幼保小連携Ⅰ(現状と課題)※ 保護者との協働体制づくりの実践※ 教職基礎演習Ⅰ(場面指導・教科)※ 体育(小) 初等教科教育法(体育) 教育実習(小学校)						
専	講師	東尾 晃世 (49)	平成29年4月	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 教師のキャリア発達※ 幼保小連携Ⅱ(実践)※ 幼児算数 学級づくりの理論と実際※ 教職基礎演習Ⅱ(教科)※ 算数(小) 初等教科教育法(算数) 初等教材研究C(算数) 教育実習(小学校)						
兼任	教授	相谷 登 (56)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅰ－河内学－※ 人格心理学			後任補充なし			教学運営を円滑に行うため担当科目の見直しを行った。現員で対応可能なため後任補充なし(29)
兼任	教授	綾木 仁 (59)	平成28年10月	総合教養Ⅳ－栄養－※						
兼任	教授	伊倉 宏司 (68)	平成28年10月	総合教養Ⅳ－栄養－※						
兼任	教授	遠藤 洋二 (60)	平成30年10月	公的扶助論						
兼任	教授	遠藤 和佳子 (48)	平成28年4月	児童家庭福祉 子育て支援論※ 教育福祉論						
兼任	教授	大川 尚子 (54)	平成28年4月	総合教養Ⅲ－健康の世界－※						
兼任	教授	柏木 雄次郎 (62)	平成28年10月	総合教養Ⅱ－「こころ」について学ぶ－※						
兼任	教授	亀島(最上)信也 (61)	平成28年10月	総合教養Ⅱ－「こころ」について学ぶ－※ 保育内容演習(人間関係)※						
兼任	教授	倉恒 弘彦 (61)	平成28年4月	総合教養Ⅱ－「こころ」について学ぶ－※ 総合教養Ⅲ－健康の世界－※ 疲労とストレスの科学						
兼任	教授	斉藤 千鶴 (63)	平成28年4月	社会福祉概論	兼任	講師	鴻上 圭太 (42)	平成28年4月	社会福祉概論	斉藤千鶴の就任辞退に伴い、担当教員を変更(28)
兼任	教授	相良 多喜子 (68)	平成28年10月	総合教養Ⅳ－栄養－※						
兼任	教授	櫻井 秀雄 (54)	平成28年10月	総合教養Ⅱ－「こころ」について学ぶ－※						
兼任	教授	島井 哲志 (67)	平成30年4月	コミュニケーション心理学 ポジティブ心理学						
兼任	教授	志水 秀郎 (57)	平成28年10月	総合教養Ⅳ－栄養－※	兼任	教授	中村 敏子 (60)	平成29年10月	総合教養Ⅳ－栄養－※	平成28年9月、志水秀郎の退職に伴い担当教員を変更(29)
兼任	教授	谷向 みつえ (51)	平成28年4月	総合教養Ⅰ－河内学－※ 子育て支援論※						
兼任	教授	津田 耕一 (55)	平成28年10月	総合教養Ⅱ－「こころ」について学ぶ－※ 障害者福祉論						
兼任	教授	袴田 俊一 (61)	平成28年10月	人間学						

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	八田 武志(70)	平成28年4月	総合教養Ⅲ－健康の世界－※						
兼任	教授	平田 まり(65)	平成28年4月	総合教養Ⅲ－健康の世界－※	兼任	教授	藤岡 弘季(45)	平成28年4月	総合教養Ⅲ－健康の世界－※	平成28年3月、平田まりの退職に伴い、担当者を変更(28)
兼任	教授	福田 早苗(44)	平成28年4月	総合教養Ⅲ－健康の世界－※						
兼任	教授	水鳥 正二郎(52)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ 基礎数学 物理学入門	兼任	講師	竹橋 洋毅(37)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	水鳥正二郎の就任辞退に伴い、担当者を変更(28)
兼任	教授	水間 智哉(49)	平成28年10月	総合教養Ⅳ－栄養－※						
兼任	教授	峯松 正敏(50)	平成28年10月	総合教養Ⅳ－栄養－※						
兼任	教授	村松 陽治(51)	平成28年10月	総合教養Ⅳ－栄養－※						
兼任	教授	森 明彦(64)	平成28年4月	総合教養Ⅰ－河内学－※ 人権教育 日本史	兼任	講師	森 明彦(65)	平成29年4月	総合教養Ⅰ－河内学－※ 人権教育 日本史	平成29年3月、森明彦の退職に伴い兼任に変更(29)
兼任	教授	森 禎章(53)	平成28年4月	基礎科学概論※						
兼任	教授	安井 理夫(56)	平成28年10月	社会福祉						
兼任	教授	山内 彰(51)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅳ キャリアデザイン※ 子ども英語 初等英語			後任補充なし			現員で対応可能なため後任補充なし
兼任	教授	山口 美和(51)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 社会学			後任補充なし			現員で対応可能なため後任補充なし
兼任	教授	山田 富美雄(65)	平成29年4月	健康心理学						
兼任	教授	吉田 初恵(56)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅰ－河内学－※ 経済学 キャリアデザイン※						
兼任	教授	渡辺 正仁(67)	平成28年4月	化学入門 生命科学概論※						
兼任	准教授	有泉 みずほ(43)	平成28年10月	総合教養Ⅳ－栄養－※						
兼任	准教授	池上 徹(45)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅲ－健康の世界－※ キャリアデザイン※ 生涯学習論						
兼任	准教授	一村 小百合(51)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ レクリエーション論						
兼任	准教授	木村 貴彦(40)	平成28年4月	総合教養Ⅲ－健康の世界－※						
兼任	准教授	澤田 崇子(54)	平成28年10月	総合教養Ⅳ－栄養－※						
兼任	准教授	治部 哲也(45)	平成28年4月	総合教養Ⅰ－河内学－※ 総合教養Ⅳ－栄養－※ 統計学						
兼任	准教授	鈴木 真(43)	平成28年4月	哲学 倫理学 道徳教育論 教育哲学	兼任	講師	小林 将太(34)	平成30年4月	道徳教育論	教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を変更(28)
兼任	准教授	多田(鈴木)美香里(43)	平成28年4月	心理学	兼任	准教授	鈴木 真(44)	H29年4月	キャリアデザイン※	教学運営を円滑に行うため担当科目の見直しを行った(29)
兼任	准教授	立花 直樹(45)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※						
兼任	准教授	中島 裕(51)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅰ－河内学－※ キャリアデザイン※						
兼任	准教授	野口 法子(56)	平成28年4月	総合教養Ⅲ－健康の世界－※ 発達障害児の指導法※ 発達障害児の指導法演習※	専	教授	島田 恭仁(61)	平成29年4月	発達障害児の指導法※ 発達障害児の指導法演習※	野口法子の就任辞退に伴い、担当教員を変更(平成28年11月AC教員審査会) (29)

認可時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		
兼任	准教授	馬場 耕造 (66)	平成28年10月	兼任	准教授	坂口 充弘 (51)	平成29年10月	総合教養Ⅳ-栄養-※	平成29年3月、馬場耕造の退職に伴い担当教員を変更(29)
兼任	准教授	藤原 和美 (57)	平成28年4月	兼任	准教授	治部 哲也 (45)	平成28年4月	総合教養Ⅲ-健康の世界-※	平成28年3月、藤原和美の退職に伴い、担当者を変更(28)
兼任	准教授	松中 久美子 (52)	平成28年4月	兼任	講師	川村 小千代 (46)	平成30年10月	子どもの健康と安全※	平成28年3月、藤原和美の退職に伴い、担当者を変更(28)
兼任	准教授	松本 明美 (46)	平成28年4月			後任補充なし		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ	現員で対応可能なため後任補充なし(28) 現員で対応可能なため後任補充なし(28)
兼任	准教授	山路 純子 (43)	平成28年4月			後任補充なし		総合教養Ⅳ-栄養-※ 基礎科学概論※	
兼任	講師	家高 将明 (39)	平成28年4月	兼任	准教授	家高 将明 (40)	平成29年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※	昇任に伴い職位を変更(29)
兼任	講師	小口 将典 (36)	平成28年4月	兼任	准教授	小口 将典 (37)	平成29年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※	昇任に伴い職位を変更(29)
兼任	講師	柿木 志津江 (41)	平成28年4月	兼任	准教授	柿木 志津江 (41)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※	昇任に伴い職位を変更(28)
				兼任	講師	川村 小千代 (46)	平成28年4月	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 子どもの健康と安全※	教育内容の充実を図るためオムニバスの担当者1名を追加(28) 平成28年3月、藤原和美の退職に伴い、担当者を変更(28)
兼任	講師	辻 陽子 (49)	平成28年4月	兼任	助教	塩津 裕康 (32)	平成29年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	辻陽子の就任辞退に伴い担当教員を変更(29)
兼任	講師	津田 恭充 (37)	平成28年10月					総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※	
兼任	講師	鼓 美紀 (39)	平成28年4月	兼任	助教	中山 淳 (37)	平成29年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	平成29年3月、鼓美紀の退職に伴い担当教員を変更(29)
兼任	講師	津吉 哲士 (43)	平成28年10月					総合教養Ⅳ-栄養-※	
兼任	講師	西井 正樹 (40)	平成28年4月	兼任	准教授	廣島 玲子 (57)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	平成28年3月、西井正樹の退職に伴い、担当者を変更(28)
兼任	講師	西村 節子 (58)	平成28年10月	兼任	准教授	西村 節子 (59)	平成29年10月	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※ 総合教養Ⅳ-栄養-※	昇任に伴い職位を変更(29)
兼任	講師	藤井 有里 (47)	平成28年4月	兼任	教授	甲斐 悟 (50)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	藤井有里の就任辞退に伴い、担当者を変更(28)
兼任	講師	寶田(上杉)玲子 (48)	平成28年4月	兼任	准教授	寶田(上杉)玲子 (48)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	昇任に伴い職位を変更(28)
兼任	講師	松村 歌子 (40)	平成28年4月	兼任	准教授	松村 歌子 (40)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 法学 日本国憲法 キャリアデザイン※	昇任に伴い職位を変更(28)
兼任	講師	森 尚彰 (44)	平成30年10月	兼任	講師	森 尚彰 (42)	平成28年4月	聴覚障害教育総論 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	中野禎の就任辞退に伴い、担当科目を追加(28)
兼任	講師	由利 緑巳 (51)	平成28年4月					基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	
兼任	助教	中野 禎 (43)	平成28年4月	兼任	講師	森 尚彰 (42)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	中野禎の就任辞退に伴い、担当者を変更(28)
兼任	講師	青野 晴美 (62)	平成30年4月					子どもの保健Ⅲ	
兼任	講師	赤崎 節子 (68)	平成30年4月					教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園)	
兼任	講師	秋吉 博之 (63)	平成29年10月					初等教科教育法(理科)	
兼任	講師	安藤 公一 (59)	平成28年10月					現代史	
兼任	講師	イアン・ハリス・キャンベル (57)	平成28年4月	兼任	講師	磯崎 恵子 (51)	平成28年4月	オーラルコミュニケーション	平成28年3月、イアン・ハリス・キャンベルの就任辞退に伴い、担当者を変更(28)
				兼任	講師	新庄谷 洋子 (59)	平成29年4月	オーラルコミュニケーション	磯崎恵子の就任辞退に伴い担当教員を変更(29)
兼任	講師	一柳(葛井)直子 (47)	平成28年4月					政治学 国際関係論	
兼任	講師	岩原 昭彦 (46)	平成30年4月					神経心理学	
兼任	講師	江端 源治 (57)	平成28年4月					総合教養Ⅰ-河内学-※ 総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※	

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	大江 篤(55)	平成28年4月	外国史						
兼任	講師	太田 直希(27)	平成28年4月	保健体育 体育実技	兼任	講師	山崎 英幸(50)	平成28年4月	保健体育	平成28年3月、太田直希の就任辞退に伴い、担当者を変更(28)
					兼任	講師	日暮 恭子(38)	H29年4月	保健体育	山崎英幸の就任辞退に伴い、担当者を変更(29)
					兼任	講師	三村 達也(49)	平成28年10月	体育実技	平成28年3月、太田直希の就任辞退に伴い、担当者を変更(28)
兼任	講師	大又 巧也(42)	平成28年4月	情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ コンピュータサイエンス	兼任	講師	中谷 聡(42)	平成28年4月	情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ	大又巧也の一部就任辞退に伴い、担当者を変更(28)
兼任	講師	岡本 京子(67)	平成28年10月	障害児保育 乳児保育						
					兼任	講師	加藤 典子(51)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)
兼任	講師	金子 正子(66)	平成30年10月	初等教科教育法(英語)						
兼任	講師	河合 優年(64)	平成28年4月	保育者論 保育方法論 幼児理解の理論と方法	兼任	講師	清水 益治(53)	平成28年4月	保育者論	教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を変更すると共に授業の方式を単独とした(28)
					専	教授	橋川 喜美代(65)	平成29年4月	保育者論	清水益治の就任辞退に伴い、担当者を変更(平成29年1月AC教員審査済)(29)
					兼任	講師	加藤 ひとみ(64)	平成29年4月	保育方法論	教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を変更すると共に授業の方式を単独とした(28)
					兼任	講師	永井 久美子(41)	平成29年4月	保育方法論	加藤ひとみの就任辞退に伴い、担当者を変更(29)
					兼任	講師	川口 剛(50)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)
					兼任	講師	川口 剛(51)	平成29年4月	英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	全学共通で授業を運営するため、担当科目を追加(29)
兼任	講師	小林 和代(51)	平成28年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ						
兼任	講師	阪野 学(54)	平成29年4月	社会的養護 社会的養護内容	兼任	講師	竹田 功(57)	平成29年4月	社会的養護 社会的養護内容	阪野学の就任辞退に伴い担当教員を変更(29)
兼任	講師	宿谷(金児)仁美(45)	平成29年4月	外国語で親しむ心理学	兼任	講師	宿谷(金児)仁美(45)	平成29年4月	外国語で親しむ心理学	心理科学科新規採用に伴い兼任に変更(28)
兼任	講師	須田 正信(66)	平成31年4月	肢体不自由教育論						
兼任	講師	関口 靖之(58)	平成28年10月	地理学						
兼任	講師	高木 信良(67)	平成28年10月	体育実技 保育内容演習(健康)※	兼任	講師	石川 美久(37)	平成29年10月	体育実技	高木信良の就任辞退に伴い担当教員を変更(29)
兼任	講師	高橋 登(57)	平成29年4月	保育内容演習(言葉)						
兼任	講師	玉置 良行(49)	平成28年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ						
兼任	講師	堤 俊彦(59)	平成30年10月	情緒障害教育概論						
兼任	講師	寺井(阿部)朋子(36)	平成28年4月	保育者論 保育方法論	兼任	講師	清水 益治(53)	平成28年4月	保育者論	教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を変更すると共に授業の方式を単独に変更(28)
					専	教授	橋川 喜美代(65)	平成29年4月	保育者論	清水益治の就任辞退に伴い、担当者を変更(平成29年1月AC教員審査済)(29)
					兼任	講師	加藤 ひとみ(64)	平成29年4月	保育方法論	教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を変更すると共に授業の方式を単独に変更(28)
					兼任	講師	永井 久美子(41)	平成29年4月	保育方法論	加藤ひとみの就任辞退に伴い、担当者を変更(29)
兼任	講師	豊沢(竹橋)純子(47)	平成30年10月	子どもの健康と安全※						
					兼任	講師	中戸 一子(68)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)
					兼任	講師	中戸 一子(69)	平成29年4月	英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	全学共通で授業を運営するため、担当科目を追加(29)
兼任	講師	中澤 洋子(58)	平成30年10月	言語障害教育概論						

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	西美江(49)	平成28年10月	教育課程論	兼任	講師	生野桂子(63)	平成28年10月	教育課程論	教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を変更(28)
					兼任	講師	波能満(62)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)
					兼任	講師	新庄谷洋子(59)	平成29年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	平成29年3月、波能満の就任辞退に伴い担当教員を変更(29) 全学共通で授業を運営するため、担当科目を追加(29)
兼任	講師	丹羽登(58)	平成30年4月	病弱教育の理論と実際 重度重複障害教育概論						
兼任	講師	廣津友香(46)	平成29年10月	初等教科教育法(音楽)						
					兼任	講師	廣津友香(45)	平成30年4月	保育内容演習(表現Ⅱ)	教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当科目を追加(28)
					兼任	講師	福田完治(51)	平成28年4月	情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ	教育内容の充実を図るためクラス数及び担当教員を追加(28)
					兼任	講師	藤原由美(39)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)
					兼任	講師	藤原由美(40)	平成29年4月	英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	全学共通で授業を運営するため、担当科目を追加(29)
兼任	講師	前川寿子(61)	平成29年4月	子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ	兼任	講師	立脇一美(57)	平成29年4月	子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ	平成29年3月、前川寿子就任辞退に伴い担当教員を変更(29)
兼任	講師	正木(大又)みき(47)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ						
					兼任	講師	松浦弘司(68)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)
					兼任	講師	松浦弘司(69)	平成29年4月	英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	全学共通で授業を運営するため、担当科目を追加(29)
兼任	講師	的場輝佳(73)	平成28年4月	総合教養Ⅰ－河内学－※						
兼任	講師	村上凡子(60)	平成30年4月	教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園) 保育教職実践演習(幼稚園)						
兼任	講師	山本利和(62)	平成30年10月	視覚障害教育総論						
兼任可				知的障害者の指導基礎論	専	准教授	堀田千絵(35)	平成30年10月	知的障害者の指導基礎論	補正申請に係る教員審査結果に伴い、担当者を変更(28) (平成29年10月AC教員審査提出予定)
兼任可				幼児体育	兼任	講師	高木信良(67)	平成28年10月	幼児体育	補正申請に係る教員審査結果に伴い、担当者を変更(28)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。



(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
13	6	3	0	22	13	6	3	0	22	13	6	3	0	22
( 10 )	( 6 )	( 2 )	( 0 )	( 18 )						[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	6 名	8 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		【該当なし】					
合計（A）					後任補充状況の集計（B）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	岡本 雅子	選択	幼保小連携Ⅰ（現状と課題）※	①	平成28年9月28日付で一身上の都合により退職届提出。退職日は平成29年3月31日（29）				
			選択	保育原理	①					
			選択	保育内容総論	①					
			選択	保育指導の実際※	①					
			選択	教育実習（幼稚園）	①					
			選択	教育実習事前事後指導（幼稚園）	①					
			選択	保育教職実践演習（幼稚園）	①					
			必修	研究演習Ⅰ	①					
			必修	研究演習Ⅱ	①					
			必修	研究演習Ⅲ	①					
			必修	研究演習Ⅳ	①					
合計（C）					後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	7	科目	選択	7	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	11	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）					後任補充状況の集計（B）+（D）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	7	科目	選択	7	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	11	科目	計	0	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成28年9月28日付で岡本 雅子教授が退職届（退職日は平成29年3月31日）を提出したことに伴い、専任教員採用等設置計画変更審査（AC教員審査）を経て直ちに後任補充を行った。なお、後任者は平成29年4月より着任しており教育研究活動に支障は生じていない。また、学生へは平成29年度学生便覧等を通じて周知しており、支障は生じていない。（29）

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年8月)	1. 「幼児音楽」については、第15回目で発表会を行うようシラバスに記載されているが、他科目は15回の授業を行った後に定期試験を行うようシラバスに記載されていることから、「幼児音楽」についても授業時間を適切に確保した上で試験（発表会）を行うこと。	留意事項	指摘に応じて、当該シラバスの修正を行った。
設 置 時 (平成27年8月)	2. 免許法に対応した本学科の開設科目の単位数が、免許上必要な単位数に対して多い。例えば、特別支援学校教諭一種免許に必要な科目のうち、「免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目」区分は、免許法上必要な単位数は5単位であるにもかかわらず、本学科は必修科目10単位（5科目）、選択科目10単位（6科目）を予定している。このことそのものが問題とは言えないが、免許法に対応した科目の履修が増えることで、本学科の研究対象である「教育学」を学ぶための科目の履修が少なくなることが懸念されるため、本学科の目的を踏まえた教育課程の履修が可能となるよう、学生に対し適切に履修指導を行うこと。	留意事項	指摘に応じて、学生へのガイダンスにおいて免許法に応じた科目にのみ偏ることなく、幅広く「教育学」関連の専門科目の履修も行うように指導した。今後も学生に対し、履修指導を適切に行っていく。
設 置 時 (平成27年8月)	3. 「教育学入門」と「教育原論」は両科目とも1年後期の選択科目として配置しているが、教育学部教育学科の設置の趣旨を踏まえ、より基礎的な科目である「教育学入門」は1年前期の開講科目に改めること。	留意事項	指摘に応じて、「教育学入門」を1年前期に開講するよう改めた。
設 置 時 (平成27年8月)	4. ほぼ全ての実習科目を春季又は夏季休暇中に行う計画であるが、学生生活に過重な負担を与えることがないよう、学期中の実施も含めて改めて実施時期について検討し、必要に応じて適切に改めること。	留意事項	指摘に応じて、実習科目の開講が特定の時期に集中せぬよう、実習先と調整を行っていく。また、実習先開拓時にも特定の時期に実習が集中せぬよう交渉を進めていく。

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年8月)	5.「保育実習Ⅱ」と「保育実習Ⅲ」の授業科目の概要について、実習先以外の記載が全て同じであることから、各科目の違いを明確にし、授業科目の概要を適切に修正すること。	留意事項	指摘に応じて、「保育実習Ⅱ」と「保育実習Ⅲ」の内容の違いが明確になるように概要の記述を改めた。併せて連動する「保育実習指導Ⅱ」及び「保育実習指導Ⅲ」の授業科目の概要も適切に修正した。
設 置 時 (平成27年8月)	6. 教員の補充を必要とされた2授業科目については、科目開講時までに教員を補充すること。	留意事項	指摘のあった2科目のうち、1年生後期に開講される「幼児体育」については非常勤講師を補充した。また3年生後期に開講予定の「知的障害者の指導基礎論」についても開講時までに担当者のAC教員審査を受審予定である。
設置計画履行状況 調査時 (平成29年2月)	教育学部教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見	退職等による後任補充時において、教育課程の維持を前提に、公募、他学部他学科からの異動等も含めて、教育・研究業績、経験等を適切に審査し、適任者を確保することで年齢構成の偏りを是正する。

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<教育学部学部 教育学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
「設置の趣旨を記載した書類」 X 実習の具体的計画 4 実習水準の確保の方策（保育実習）	本学科の研究対象である「教育学」を学ぶための科目の履修を確保するために、保育実習の受講資格を見直した。 (28)

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD委員会（平成18年度～）※平成23年度より授業評価委員会（平成18年度～）を統合した。【別紙1】</p> <p>b 委員会の開催状況 全6回開催した。（定例4回＋臨時2回）</p> <p>c 委員会の審議事項等 FD活動の推進、授業改善の方策、授業評価、教員の研修計画立案・実施などに関連する事項を取り扱う。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>1. FD委員会            (1) 学科の特徴や問題点を踏まえたFD活動の目標設定と実施            (2) 自己点検表による授業の自己分析の実施            (3) 兼任講師の教育活動表彰に関すること</p> <p>2. IR・FD・アドミッション推進室（旧、教育開発支援センター）【別紙2】            (1) 授業アンケートの実施            (2) 教員研修会の計画・実施            (3) 学外FD研修会への参加奨励（参加費・交通費の補助）</p> <p>b 実施方法</p> <p>1. FD委員会：学科毎のFD活動の取組み報告と、授業の自己分析実施の企画と遂行。授業アンケート結果より兼任教員の顕彰検討。</p> <p>2. IR・FD・アドミッション推進室：全教職員（主に専任）を対象に全学的なFDに関するプログラムを企画し実施する。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p>
--

## 1. FD委員会

- (1) 学科で当該年度におけるFD活動計画を立案し第2回委員会でその内容を報告。第5回委員会での中間報告、第6回委員会での最終報告を経て、最終的に活動内容と成果を報告書にまとめ、全教員へ公開した。
- (2) 専任教員において、担当1科目を対象として春学期授業アンケート結果を参考に自己点検表を作成し、そのプロセスを通じて授業改善・振り返りを行う。
- (3) 5学科のFD活動の計画書でPDF冊子を作成し、学内の各種会議で報告を行った。  
また、活動の報告書はPDF冊子を作成した。

## 2. IR・FD・アドミッション推進室（旧、教育開発支援センター）

- (1) 秋学期の授業アンケートの実施計画を立案し実施した。
- (2) 4月初めには教学方針の変更に関する研修会を行い、115名が参加した。併せて新任教員24名に対して教学について別途研修会を実施した。
- (3) 4つのテーマによるFDワークショップを実施し、120名が参加した。
- (4) 月に1回程度の頻度で専任教員向けに学内情報共有システム（サイボウズ）により学外研修会の案内を発信し、延べ15名の教員が参加した。

### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD委員会では、学生の授業アンケート結果をふまえた自己点検表による授業の振り返りを行い、改善へつなげるプログラムを推進している。また、学科におけるFD活動の目標設定と実施を通じて、組織的な活動が展開できている。

IR・FD・アドミッション推進室では、教員の自己啓発に資する取組みとして重要と考えるテーマで研修会を開催している。  
また、学生による授業アンケートを実施し、授業改善のための資料のひとつとして教員にフィードバックしている。

## ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a 実施の有無及び実施時期

授業アンケートを春学期（6/2～7/27）に全524科目を対象に実施した。

### b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートを実施した全524科目の個人別・科目別結果は、担当教員に年度内にフィードバックした。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

【別紙3】

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

本学では、「自己点検・評価委員会」（以下「委員会」）を設置している。「大学自己点検・評価規程」により原則として、3年ごとに本学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備等の状況について、全学的な自己点検・評価を実施している。全学的な自己点検・評価は、日本高等教育評価機構の定める基準を準用することとし、その結果は、学内教職員に共有するとともに、大学ホームページ上に公表している。

平成27年度は認証評価機関（日本高等教育評価機構）を受審しており、評価結果とともに報告書全文を平成28年4月にホームページ上で公表した。

なお、当該対象学部を含む自己点検・評価については、上記規程に基づき平成30年度に実施する予定である。

##### b 公表方法

従来より自己点検・評価結果は、全教職員で情報を共有すると共に大学ホームページ上でも公表している。当該対象学部を含む自己点検・評価結果は、報告書を刊行するとともに平成31年4月頃に大学ホームページ上での公表を予定している。

#### ③ 認証評価を受ける計画

平成34年度までに認証評価機関（日本高等教育評価機構（予定））の評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成29年 7月 1日 )